

倫理審査申請書

2025年 12月 22日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 中島 謙
所属 放射線診断科
職名 医師



受付番号 IR2025-182 (※事務局で記入)



1 審査対象 症例報告 (発表予定日 <u>未定</u>) *発表予定日未定の場合は未定と記載
2 課題名 *未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 <u>PTPシート誤飲が原因となった大動脈破裂の一例</u>
3 症例報告実施者 氏名: <u>加藤 弘章</u> 所属: <u>放射線科</u> 職名: <u>医師</u>
4 症例報告の概要 <u>PTPシート誤飲が原因となった大動脈破裂症例を経験した。血管内治療によって救命できたが最終的に敗血症で死亡した。本症例を文献的考察も加えて報告する。</u>
5 医療行為における医学倫理的配慮について (I～VIVは必ず記載のこと)
I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護 <u>個人情報保護に努める。</u>
II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ※いずれかを○で囲んでください。 ① <u>オプトアウト</u> ②書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。 ③その他 ()
III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性 <u>該当せず</u>
IV 予測される医学上の貢献 <u>稀ではあるが致命的となり得るPTPシート誤飲に伴う合併症を報告し、その対処法について提言を行う。</u>
V その他 (症例数等) *未定の場合は見込みを記入すること 症例数等: <u>1例</u>

注意事項 審査対象となる症例報告原稿のコピーを添付して下さい。

別記第1号様式 (第6条関係)

倫理審査申請書

2025年(2月22日提出)

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 佐藤啓太



所属 外科

職名 医師

受付番号 ER2025-144 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象	*何れかに○を付けてください。
1) 実施計画	
2) 出版・公表予定原稿	(発表予定日: 2026年 / 月 日)
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 Greenhouse Gas Emissions in Esophageal Cancer Surgery: A Comparative Analysis of Surgical Approaches
3 主任医療行為者名	氏名: 佐藤啓太 所属: 外科 職名: 医師
4 分担医療行為者名	氏名: 所属: 職名:
5 医療行為等の概要	*研究の内容についてご記載ください。 食道癌手術時の環境負荷調査 (添付文章参照)
6 医療行為等の対象及び実施場所	*研究対象者・データ等についてご記載ください。 手術室, 食道癌患者

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について (I～VIVは必ず記載のこと)

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

薬物療法を用いた癌研究

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

①オプトアウト¹

②書面による同意

*同意書のひな型を添付ください。

③その他 ()

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

なし

IV 予測される医学上の貢献

green esophagectomy の普及

V その他 (研究期間、症例数等) *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間:

症例数等:

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院 HP 上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式(第6条関係)

倫理審査申請書

2025年 12月 24日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 井上 隆一



所属 脳神経内科

職名 医師

受付番号 EP2025-145 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象	*何れかに○を付けてください。	
1) 実施計画		
② 出版・公表予定原稿	(発表予定日: 2026年初旬)	
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。	
伊勢志摩地域における高血圧性脳出血の現状(仮)		
3 主任医療行為者名		
氏名: 井上 隆一	所属: 脳神経内科	職名: 医師
4 分担医療行為者名		
氏名: 小林 和人	所属: 脳神経内科	職名: 医師
萩原 莉花	脳神経内科	医師
井上 奈津実	脳神経内科	医師
松尾 皇	脳神経内科	医師
山崎 正禎	脳神経内科	医師
矢合 哲士	脳神経外科	医師
山中 拓也	脳神経外科	医師
佐野 貴則	脳神経外科	医師
種村 浩	脳神経外科	医師
石垣 共基	脳神経外科	医師
宮 文卓	脳神経外科	医師

<p>5 医療行為等の概要 *研究の内容についてご記載ください。</p> <p>2019年～2023年に当科に入院となった高血圧性脳出血患者を対象として、降圧薬の内服や抗血栓薬の内服を含む患者背景を集計した。</p> <p>また、降圧薬や抗血栓薬が予後に関連するかについて多変量解析などを用いて評価を行った。</p>
<p>6 医療行為等の対象及び実施場所 *研究対象者・データ等についてご記載ください。</p> <p>当院脳神経内科で2019年～2023年に入院となった高血圧性脳出血患者</p>

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～VIVは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

すべてのデータは匿名化し、個人が特定出来ないように管理する。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で開んでください。

①オプトアウト

②書面による同意

*同意書のひな型を添付ください。

③その他（

）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

脳出血と診断された患者での後方視的研究であり、不利益や危険性は生じない。

IV 予測される医学上の貢献

伊勢志摩地域の高血圧の治療状況や抗血栓薬の使用状況が判明することで現状の問題点を確認出来て、医療レベルの向上につながる可能性がある

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間：2019年4月～2023年3月

症例数等：765例

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院HP上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式（第6条関係）

倫 理 審 査 申 請 書

2026年 1月 6日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 淵田 悠一郎



所 属 薬剤部

職 名 薬剤師

受付番号 FR2025-148 (※事務局で記入)

所属長の印	
-------	--

1 審査対象	*何れかに○を付けてください。
① 実施計画	
2) 出版・公表予定原稿	(発表予定日: 年 月 日)
2 課題名	*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 救急外来における薬剤師業務の構築と業務内用の調査(仮)
3 主任医療行為者名	
氏名: 淵田悠一郎	所属: 薬剤部 職名: 薬剤師
4 分担医療行為者名	
氏名: 小宅典子	所属: 薬剤部 職名: 薬剤師
5 医療行為等の概要	*研究の内容についてご記載ください。 救急外来における薬剤師の業務体制を構築し、実際の業務内容を調査する。
6 医療行為等の対象及び実施場所	*研究対象者・データ等についてご記載ください。 対象: 救急外来で薬剤師が介入した患者 実施場所: 救急外来

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

審査対象欄は、非該当部分を消して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

医療行為対象者の人権を侵す恐れはないが、十分配慮する

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

①オプトアウト¹

②書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。

③その他（ アンケートは口頭にて取得 ）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

不利益が生じる危険性はない。

IV 予測される医学上の貢献

医師・看護師のタスク・シフティングを目的とした常駐・オンコールによる救急外来における薬剤師業務は以前から他施設より報告され、日本病院薬剤師会・日本臨床救急医学会から指針が発出されるまでとなった。診療報酬においても検討事項に挙げられており、救急外来での薬剤師業務は注目されているが、常駐・オンコール体制で業務実施を行なっている2次・3次救急は40%に留まっている。当院のオンコール体制下での業務体制・業務内容の報告が、他施設で業務構築する際の参考となる可能性がある。

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間：2025/10/01-2025/12/31

症例数等：723例

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院HP上で研究名を公知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度

別記第1号様式(第6条関係)

倫理審査申請書

2026年1月19日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 小林 千明 

所属 臨床検査課

職名 臨床検査技師

受付番号 ER2025-149 (※事務局で記入)

所属長の印 

1 審査対象 <input checked="" type="radio"/> ① 実施計画 2) 出版・公表予定原稿 (発表予定日:)
2 課題名 機器更新に伴う CBC、生化学・免疫項目、尿項目、微生物検査の臨床評価
3 主任医療行為者名 氏名: 小林 千明 所属: 臨床検査課 職名: 臨床検査技師
4 分担医療行為者名 氏名: 田中 真知子・梅森あゆみ・前田るみ子・石黒千晶 所属: 臨床検査課 職名: 臨床検査技師
5 医療行為等の概要 *研究の内容についてご記載ください。 2026年3月の測定機器更新(血液検査3台、生化学検査4台、免疫検査4台、一般検査2台、微生物検査2台)を行うにあたり、現行機器との相関や測定値の評価など、残余検体にて後ろ向きに検討する。
6 医療行為等の対象及び実施場所 *研究対象者・データ等についてご記載ください。 2026年1月下旬から2026年3月20日までに検査室に提出された検体(約5000検体)

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

現行機器と解離の出た検体については患者の画像診断や病理組織診断、臨床症状を電子カルテで検索し、レトロスペクティブに調査する。患者を特定できないよう十分に配慮して実施する。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

① オプトアウト¹

② 書面による同意

*同意書のひな型を添付ください。

③ その他（

）

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

レトロスペクティブな調査研究のため患者に不利益並びに危険性はないと考えられる

IV 予測される医学上の貢献

現行機器から新規機器への変更で業務改善も期待できる。

また、試薬変更後の診断効率や診断性能についても検討する。

V その他（研究期間、症例数等） *未定の場合は見込みを記入すること

研究期間：2026年1月下旬から2026年3月20日

症例数等：約5000例

¹ 患者への侵襲がなく、個人が特定されることのない方法で実施される研究については、病院HP上で研究名を告知し、研究への不参加の意思を病院あてに通知する窓口が整備されていることをもって、患者から同意を得たこととする制度